

的原理ト為スヲ排撃ス故ニ因縁ト言ヘル範疇
ノ實質的本義ヨリレテ之ヲ言ヘハ關係哲學個
要ニ於テ研究セシ所ノ關係自性即チ是ナリ客
觀的ニ實在スルニ非ス又主觀的ニ實在スルニ
モ非ス有ニ非ス無ニ非ス一ニ非ス異ニ非ス此
テ主觀客觀有無一異ヲレテ主觀客觀有無一異
トレテ表現セシムル所ノ實在的原理ナルカ故
ニ人類カ痛ク其對境ニ拘泥スルヲ見レハ方法
唯心ト説キ其一心ニ拘泥スルヲ見レハ我空法
有ト説キ心境双泯ニ拘泥スルヲ見レハ諸法實

東橋遺墨

相ト説キ心境双存ニ拘泥スルヲ見レハ我法
空ト説ク心若シハ我ヲ甲トシ境若シハ法
ヲ乙トシテ之ヲ言ヘハ方法一心説ハ肯甲否乙
表現的契機ノ牽動我空法有説ハ否甲肯乙表現
的契機ノ牽動諸法實相説ハ甲乙俱肯表現的契
機ノ牽動我法二空説ハ甲乙俱否表現的契機ノ
牽動ニシテ皆一切万有ノ實在的原理タル關係
自性カ保有スル所ノ表現的契機ノ四種方面ヲ
各自別々ニ發揮シテ以テ人ヲシテ因縁ノ正義
ヲ知ラシメント欲スル所ノ善巧方便タルニ過

本

キアイトアリナム又モ唯モ心モ論ニニモ非ス又モ我モ空ニ空ニ的一一切ニ皆ニ空ニ論ニニモ非ス
ル、理深ク思フテ之ヲ知ル可キナリ若シ此一
開ニシテ通過シ得ルニ非レハ左支右吾互ニ相
抵觸スル所ノ七千餘卷ノ經論八万四千ノ法門
ハ決シテ其本義ヲ了解スルヲ得可ラス

東橋原表

第五節 佛教中：於ル無明及ヒ涅槃ノ

原理

因縁ニ原理ニニ継テ大小乘ヲ通シテ一致スル所ノ佛教

ノ本義ハ無始以來ノ無明ニ因テ三界ニ流轉シ

四諦親十二因縁親乃至八正道六波羅密等ノ修

行ニ因テ三界ヲ出離シ無餘涅槃ニ入ルノ原則

ナリ

相待無明ヲ無明無待トシ絶待五知ヲヲ涅槃真如トシ又絶待シヲ甲ト

レ相待シヲ乙トシテ之シ言ハハ無始ノ初シ無明無明

ラ起シテ三界ニ流轉スト言ハルハ肯甲否他表
現的契機ノ發動ガ一轉シテ否甲肯乙表現的契
機ノ發動ニ推移スルノ謂即チ絶待ヲ離レテ相
待ニ移ルルニシテ四諦親十二因縁親乃至八正
道ニ波羅密等ノ修業ニ因テ三界ヲ出離シ無餘
涅槃ニ入ルト言ハルハ否甲肯乙表現的契機ノ
發動シ一轉シテ肯甲否乙表現的契機ニ推移ス
ルノ謂即チ相待ヲ離レテ絶待ニ移ルルナリ此
推移シ促スハ則チ佛教ノ教者即チ四諦親十二因
縁親乃至八正道六波羅密等ノ由テ起ル所ノ原

東條原教

理ナリ

故ニ佛教中ニ於テ大小乘ヲ通シテ一致スル所
ノ無明乃チ涅槃ノ原理ハ關係哲学ノ上ヨリシ
テ之ヲ言ハハ畢竟關係自性カ保有スル所ノ表
現的理法及ヒ表現的契機四種方面ノ變轉推移
ニ升ナラスレテ佛教修行ト言ヘルハ此變轉
推移ヲ促ス所ノ方法手段ナリ所謂順ニ轉スレ
ハ菩提ヲ轉シテ煩惱ト為シ逆ニ轉スレハ煩惱
ヲ轉シテ菩提ニ入ルト言ヘルハ則チ道理ヲ簡
單ニ表示シタル者ナリ歐羅巴ノ佛教研究者中

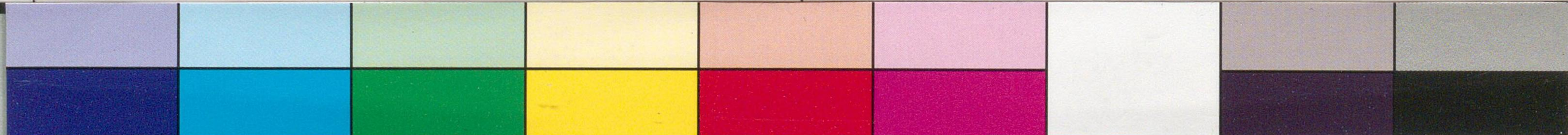


往々佛教ハ実行の实效有リト云モ理論的即チ
哲學的基礎ヲ缺クト言ヘル所ノ説ヲ為ス者有
ルハ畢竟從前ノ佛教僧侶等カ輩ニ教内ノ人ニ
ノミ有効ナル可キ釈迦牟尼佛陀ノ聖教量ノミ
ヲ誇張シテ教外ノ人ヲシテ感服セシム可キ所
ノ論理的哲學的説明ヲ為スノ必要ヲ解セサル
ノ過ナリ

東條
原
家

第六節 佛教各宗派哲學原理判教ノ改
落

余ハ前二章ニ於テ佛教中大小乗ヲ通シテ一致
スル所ノ因縁及ヒ無明涅槃ノ原理ヲ關係哲學
ノ上ヨリレテ判教セリ而シテ佛教中ニ大乗及
ヒ小乗ノ名有リ又大乗ハ非佛説ニシテ小乗ハ
眞佛説ナリ等ノ説紛々タリト雖モ今日ニ在テ
嚴正之ヲ證明セントスルカ如キハ恰カモ空中
ノ鳥跡ヲ數フルニ同シク無益ノ徒勞ナリ苟ク



モ其根本的基礎ニシテ全然一致スル所有ヲハ
大乘小乘皆是佛祖カ機ニ臨ミ変ニ應スルノ善
巧方便ナリト見テ不可無ル可シ
釈迦牟尼佛陀入滅後凡ソ四百年頃ニ説一切有
部ノ世友菩薩カ著シタル異部宗輪論即チ佛教
宗派分裂史ニ記スル所ノ小乘二十部各宗派教
説ノ異同及ヒ四阿含經六足論等ノ所説ヲ一々
判釈セシハ事餘リニ煩鎖的ニ涉ル可ナク故ニ
前ニ章ノ判釈ニ於テ尽セリトシテ之ヲ省キ直
チニ支那日本ニ行ハル所ノ佛教大小乘各宗派ノ

東橋屋

大要ヲ一括シテ次節ニ俱舍宗及ヒ法相宗哲學
ノ原理第八節ニ成実宗及ヒ三論宗哲學ノ原理
第九節ニ天台宗及ヒ華嚴宗哲學ノ原理第十節
ニ真言宗及ヒ禪宗哲學ノ原理第十一節ニ他力
宗ノ原理ヲ判釈シテ印度哲學ノ判釈ヲ畢リ第
ニ款支那哲學ノ部ニ移ル可シ
然リ而シテ此佛教九宗派ノ中法相三論真言
三宗派ハ印度ニ於テ一宗派ヲ為シタルノ形迹
有リト雖モ其他ハ大抵皆支那東漸ノ後大ニ發
達シ大抵皆支那僧侶ノ勉勵ニ因テ其教理ヲ發

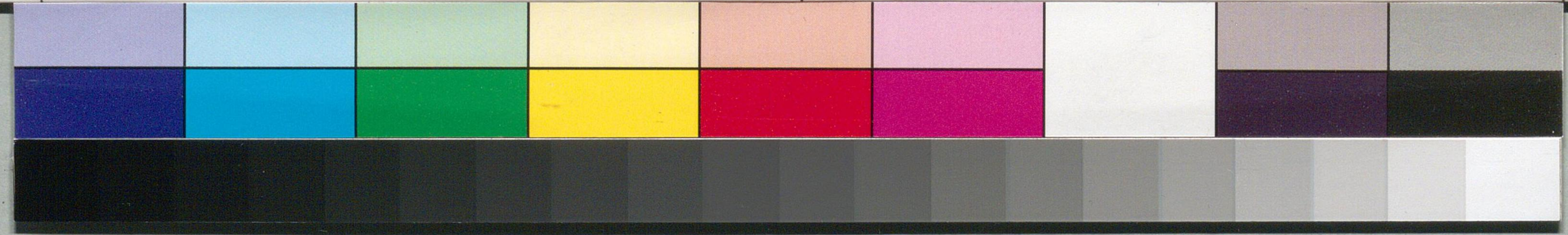
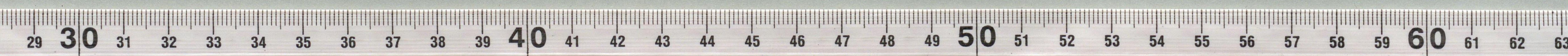
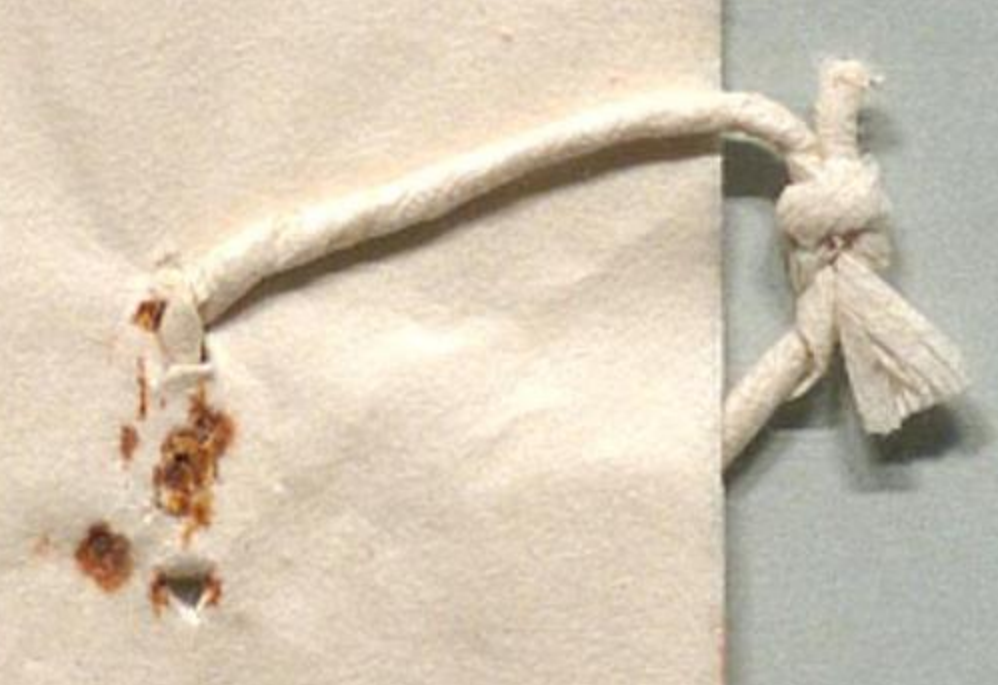


揚シテ一宗派ノ形ヲ為シタル者ナリ然レトモ
モ其教理ノ基ヲ所ハ一ニ皆印度ノ經論ニ出リ
ル無キカ故ニ概シテ之ヲ印度哲学中ニ列シテ
之ヲ判釈ス

東洋史

第七節 俱舍宗及法相宗哲學ノ原理

第一ニ 俱舍宗哲學ハ世親菩薩カ著ス所ノ所毘
達磨俱舍論ヲ以テ本據ト爲シ全宇宙一切万有
ヲ十一ノ色法一ノ心法四十六ノ心所有法十四
ノ不相應行法及ヒ三ノ無爲法合シテ七十五法
即チ七十五ノ範疇ニ因テ分別ス而シテ其結局
スル所ノ教旨ハ生空ヲ明カシテ法空ヲ談セス
和合聚成ヲ假リニ名ヲケテ人ト謂フノミナル
カ故ニ全宇宙ナリト視キ法空ヲ明カサストハ



客觀的諸法即自我ニ非ル所ノ全宇宙一切万
有ハ過去ニ於テモ現在ニ於テモ未來ニ於テモ
三世皆實有ナルカ故ニ全ク空ニ非スト説ノ故
ニ他宗ヨリシテ本宗ヲ呼テ我空法有宗若シク
ハ有法無我宗ト謂フ
關係哲學ノ理法ヨリシテ主觀的自我ヲ甲トシ
客觀的諸法ヲ乙トシテ之ヲ判歎スレハ俱舍宗
哲學ノ原理ハ甲ヲ否定シテ乙ヲ肯定スル所ノ
否甲肯乙表現的契機ノ奮動トシテ唯物論ヲ主
張レ此一方面ノ真理ヲ鼓吹シタルナリ

東
橋
唐
藏

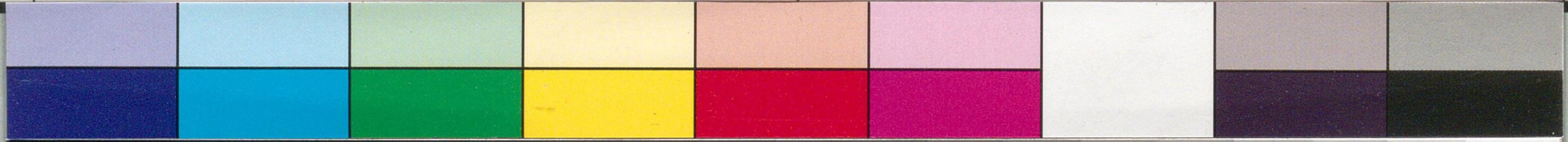
第二ニ法相宗哲學ハ弥勒菩薩カ都率天ヨリ降
テ説キタルト稱スル所ノ瑜伽師地論等ノ五部
ノ大論ヲ以テ本據ト爲シ全宇宙一切万有ヲ八
ノ心法五十一ノ心所有法十一ノ色法二十四ノ
心不相應行法及ヒ六ノ無為法合シテ百法即チ
百ノ範疇ニ因テ分別ス而シテ其結局スル所ノ
教旨ハ一切唯識ヲ以テ其精神骨髄ト爲ス一切
唯識トハ山河大地モ人天鬼畜モ依正色心ノ諸
法モ全宇宙一切万有皆心法中ノ第八識ナル阿
賴耶識即チ含藏識ノ所變即チ表現ニシテ阿賴

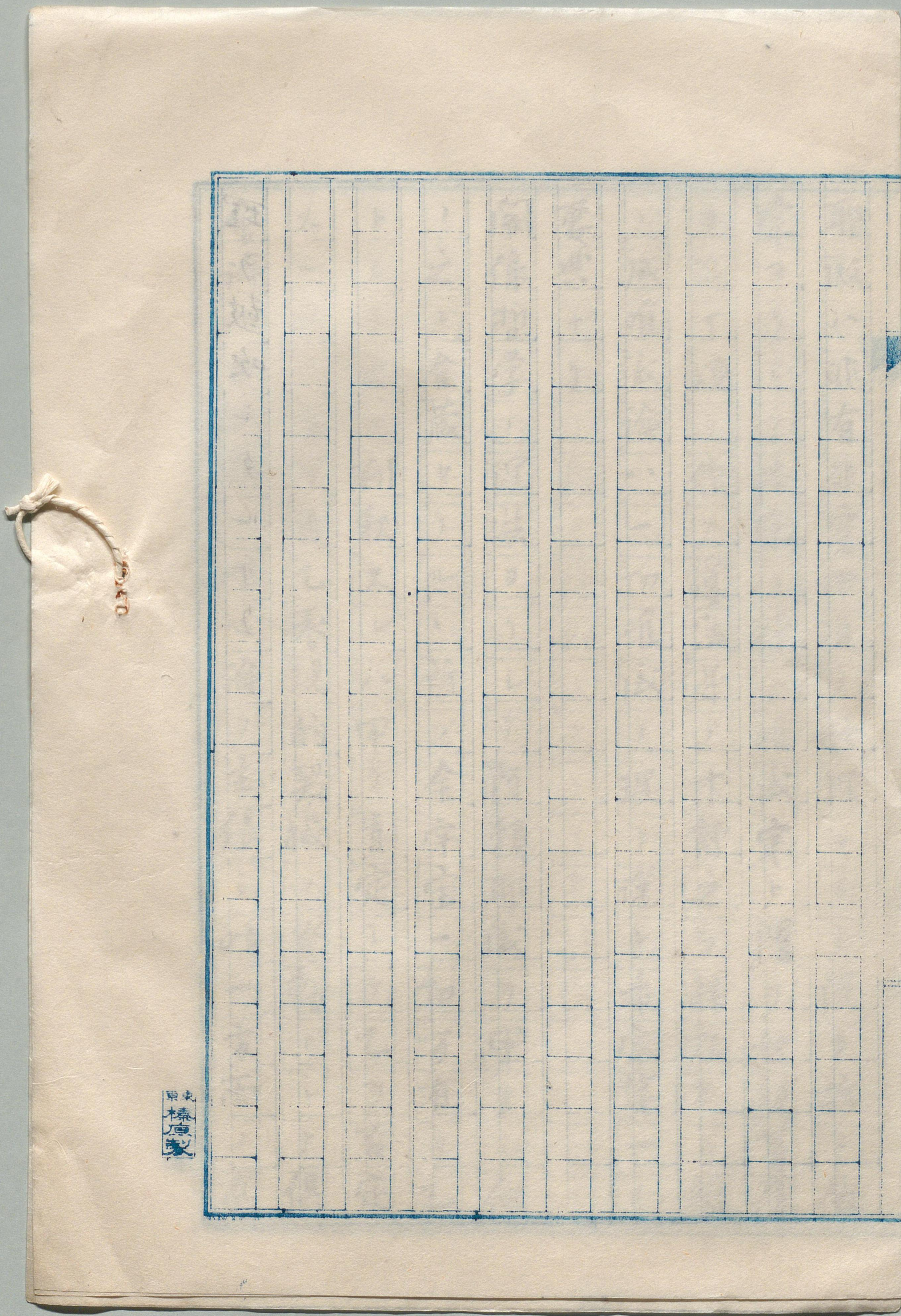


耶儼ハ非有非空中道ノ妙理ナリト説ク故ニ他
宗ヨリシテ本宗ヲ呼テ唯儼宗ト謂フ世親菩薩
カ三十頌ヲ作リ護法等ノ十師之ヲ解款セシ所
成唯儼論ハ一切唯儼ノ理ヲ説キ本宗第一ノ
要典ナリ
關係哲学ノ理法ヨリシテ阿頼耶儼ヲ甲トシ他
ノ之ニ含藏セラルル所ノ全宇宙一切有ヲ乙
トシテ之ヲ判釈スレハ甲ヲ肯定シテ乙ヲ否定
スル所ノ肯甲否乙表現的契機ノ發動トシテ俱
舍論ト正及將ニ唯心論ヲ主張シ此一方面ノ真

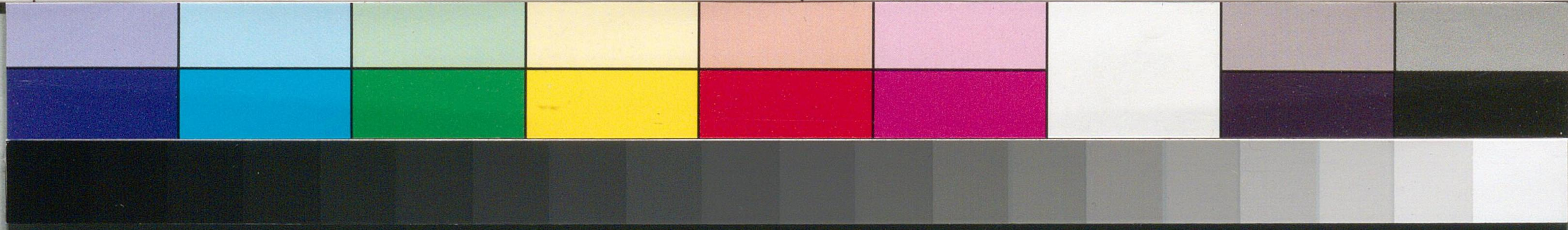
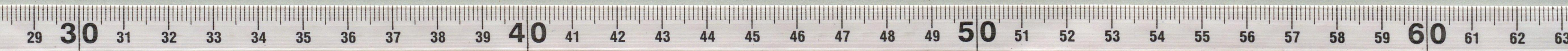
東洋學
南無阿彌陀佛

理ヲ鼓吹シタルナリ





東
林
堂
製



国立国会図書館 渡辺国武関係文書(その2) 1054

第八節 成実宗及ヒ三論宗哲学ノ原理
第一ニ成実宗哲学ハ數論外道ヨリ改宗シテ佛
教ニ入りタル所ノ訶梨跋摩カ著ス所ノ成実論
ヲ以テ本據ト爲シ第二ニ三論宗哲学ハ龍樹菩
薩カ著ス所ノ中論十二門論提婆菩薩カ著ス所
ノ百論ノ三論ヲ以テ之カ本據ト爲シ此兩宗俱
ニ人法ニ空ヲ主張ス人法ニ空トハ俱舍宗哲学
ノ我空ト法相宗哲学ノ法空トヲ合シテ一宗ト
爲シタルカ如キ者ニシテ全宇宙一切万有中ノ

主觀的自我ヲ客觀的諸法モ皆相待的ニ關係シ
テ表現セラル、所ノ夢幻妄惑タルニ過キスレ
テ其實在的原理ハ全ク空ナリト説ク然ルニ佛
教僧侶中ノ多クガ成実宗ハ之ヲ小乘ニ屬シテ
之ヲ鄙シミ三論宗ハ之ヲ大乘ニ加ヘテ之ヲ尊
崇スル所以ハ同シク人法ニ空ヲ説ク上ニ於テ
大ニ深淺ノ差異有ルヲ見タルナリ成実宗ノ人
法ニ空論ハ主觀的自我ト客觀的諸法トカ皆相
待的依他起無自性ナルヲ觀シテ之ヲ掃蕩シテ
一空ニ歸シタル處ヲ以テ之カ極致ト為スト至

東橋庵家

モ三論宗ノ人法ニ空論ハ其盡頭極處ニ於テ百
尺竿頭ニ尚一步ヲ進メ空モ亦有ニ對スルノ空
ニシテ有モ亦空ニ對スルノ有ナルカ故ニ空有
俱ニ是空ナリト説ク提婆菩薩ノ百論中ニ破空
品有ルハ全ク之上為メナリ
兩宗哲學深淺ノ別有リト至モ其説リ所甚ク相
類似シ成実宗ニ於テ四諦中ノ滅諦ニ重キヲ置
ケハ三論宗ニ於テハ不生不滅不斷不常不一不
異不來不去ノ八不ヲ説キ成実宗ニ於テ世界門
ト第一義門トノ二門ヲ分テハ三論宗ニ於テハ



眞諦俗諦ノ二諦ヲ分ツカ如キ自ラ靈犀一點ノ
通スル所有ルヲ見ル可キナリ
而シテ關係哲学ノ理法ヨリシテ之ヲ判歟スレ
ハ成実宗哲学三論宗哲学深淺ノ差異有リト云
モ同シク是主觀的自我ト客觀的諸法ト甲乙ノ
兩項俱ニ否定スル所ノ甲乙俱否表現的契機ノ
發動トシテ不可思議的(真空)一元論ヲ主張シ此
一方面ノ真理ヲ鼓吹シタルナリ

渡辺国武